

雪印が
お奨めする
育成選抜品種の解説

飼料用かぶ(雪印下総かぶ)

しもふさ

(一) 育成選抜の目的

暖地における飼料根菜の大宗である飼料用かぶの品種としては、東北地方北部は小岩井かぶ(小岩井農場育成)が重用されておりますが、それより以西の地区では下総かぶの栽培が断然多く、飼料用かぶとして

は重要な品種で、これの特性を更に多収と、貯蔵力を高めようとした。

(二) 育成選抜の経過

本品種は弊社千葉農場において昭和二十五年頃下総御料牧場、千葉県嶺岡種畜牧場より所謂下総かぶの種子分譲をうけ爾来、多収と貯蔵性の向上を目的として、個体選抜、系統集団淘汰(Pedigree mass selection)を繰返し、原種、原々種段階においては勿論集団淘汰(Mass selection)を継続し、絶えず能力の向上に努めておるものです。

(三) 特性概要

(表参照)

飼料用かぶとして

は晩生種に属する雪

印下総かぶは秋まき

では一〇〇日〜一二三

(四) 利用上の注意

○日間の生育を必要とし、よく生育しますと一個体で一・五キ以上となり葉部のよく生長(総重の三〇〜四〇%は葉)する青首のやや短円錐型の巨大な多収品種です。

a 晩生品種ですから秋の生育期間の長い東北地方の南部以西の地区によし。

b 貯蔵力に富んだものを得るためには、一〇〇〜一三〇日位の生育日数を必要とします。

c 直播で前作関係其の他で前記の日数を得られない時は、移植栽培で生育日数を十分とることも出来、移植苗は三五日前後の本葉七八枚頃のものがよい。

d 早春まきでは低温感応性が高く抽臺し

雪印下総かぶ特性概要表

雪印改良紫丸かぶ	雪印下総かぶ (S K 系)	下 (市 販 品)	特 性 調 査				一〇ヶ年当収量調査							
			生育期	草丈	葉数	根長	根周	整一度	総重	同比	葉重	同比	根重	同比
九、四	六、四	九、四	五月	五、五	六、二	三、八	二、七	良	六、五	一〇〇%	二、八	一〇〇%	三、七	一〇〇%
六、四	五、五	五、五	五月	三、六	三、八	三、八	三、六	良	七、五	一一五%	三、二	一一五%	四、三	一一五%
五、五	二、六	二、六	五月	二、四	二、二	二、二	二、二	良	二、八	八三%	二、四	八三%	三、一	八三%

備考 播種九月一日、畦幅六〇、株間三〇、一〇ヶ年当施肥量(キ)、堆肥一、五〇、硫酸一五、過石五〇、塩加一五



かぶは、ボンキン(家畜南瓜)の畦間に播種してつるの伸びる前に収穫することが出来る
写真は生育中のかぶと中耕除草